

BUSINESS REPORT

第20期 株主通信

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日



A zest for
Inno **ation**
contributing
to society



株式会社バイ・テクノロジー
(証券コード:7717)

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは1997年の創業よりフラットパネルディスプレイ (FPD) 製造を支える装置メーカーとして、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し、社会に貢献するべく、様々な活動を展開しています。昨年6月には、「FPD事業の収益基盤の深耕・拡大」と、「新事業立上への挑戦と礎の構築」からなる中期経営計画を発表し計画を上回る業績で1年目を終えることが出来ました。それでは、決算の概要についてご報告します。

当連結会計年度における世界経済について、米国経済は、企業投資の伸びが下支えするかたちで緩やかな拡大基調を継続しています。中国経済は、政府支出、輸出の増加等により緩やかな改善を維持しました。欧州経済は、先行きに不透明さが残るものの景気回復傾向が継続されました。わが国経済は、企業の生産活動は持ち直しなどにより緩やかな回復傾向が続きました。

当社グループの主要な市場であるFPDの製造装置市場においては、モバイル機器のモデルチェンジやテレビの4K化および大型化等を背景とした、主に海外での有機ELディスプレイ (OLED) および大型液晶パネルの大規模な設備投資が継続されました。このような環境の中、当社グループは、中国を中心に、日本、台湾、韓国といった国内外のパネルメーカーに拡販活動を行ってまいりました。

受注金額は、主に中国、国内向けの検査関連装置、中国向けの露光装置並びに関連消耗部品およびメンテナンス等の受注により、750億8千6百万円 (前年同期690億3千6百万円) となりました。なお、受注残高は723億8千1百万円 (前年同期426億7千1百万円) となりました。

この結果、当連結会計年度は、中期経営計画を上回る過去最高の業績となり、売上高は453億7千6百万円 (前年同期売上高391億5千3百万円)、営業利益は54億1千4百万円 (前年同期営業利益25億7千8百万円)、経常利益は54億6百万円 (前年同期経常利益22億3千5百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は28億1千3百万円 (前年同期親会社株主に帰属する当期純利益9億8千9百万円) となりました。

また、2017年3月期の期末配当金につきましては、業績および配当方針を反映し、1株当たり75.00円の配当を実施いたします。

今後も株主の皆様のご期待に添えますよう、自らの枠を超え、FPDのイノベーションを追求し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

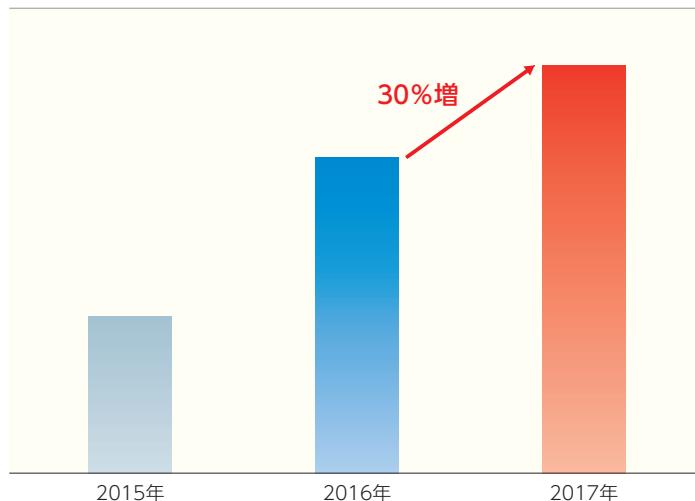
2017年6月



代表取締役社長
杉本 重人

FPD製造装置市場について

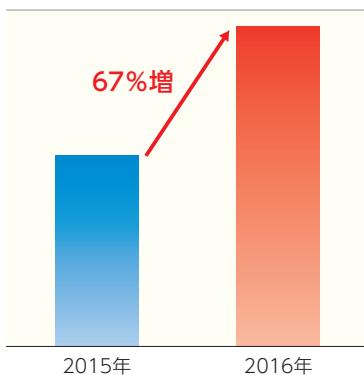
テレビ用パネルの大型化や高精細化、スマートフォンなどへの中小型OLEDの採用増加などによる設備投資の増加により、FPD製造装置市場は前年比で30%程度成長する見通しです。



FPD製造装置市場推移、IHSディスプレイサーチ社資料より。

製品トピックス 1 | 歩留り管理ツールの需要増

高精細液晶パネルおよびOLEDパネルの出荷に勢いが増しています。両方のパネルに共通して使われるTFT(画素を制御する薄膜トランジスタ)パターンの微細化により、品質を管理するツール、特に寸法を測定する装置の需要が急増しました。



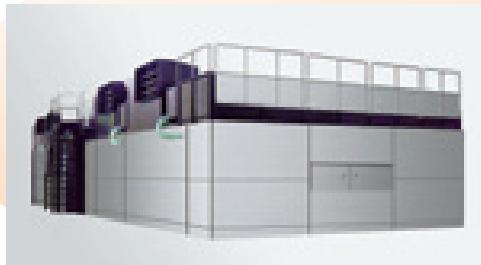
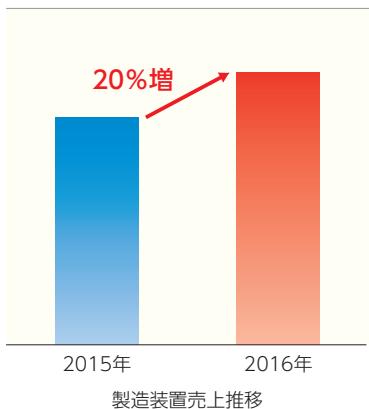
測定装置売上推移



寸法測定装置

製品トピックス 2 | 製造装置について

大画面パネルに対応した工場の新設が相次ぎ、堅調に推移しました。



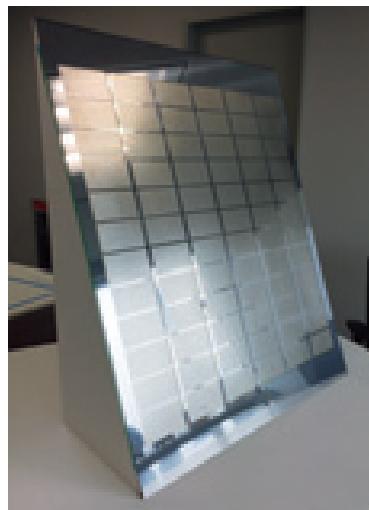
露光装置ラインナップ

製品トピックス 3 | ファインハイブリッドマスクと蒸着装置の開発

装置価格の低減と面積当り生産性の飛躍的な向上を実現する蒸着装置の開発を進めています。軽量で縦設置時に変形の少ないファインハイブリッドマスクを用いて、基板と蒸着マスクの縦搬送で省スペースを実現する蒸着装置の開発を進めています。



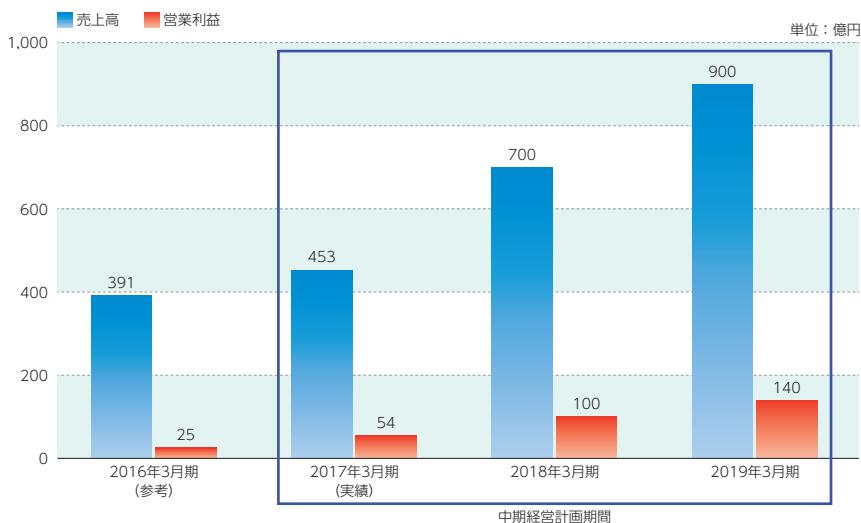
(イメージ) 縦型蒸着装置コンセプト



(写真) ファインハイブリッドマスク試作品

中期経営計画進捗状況

中期経営計画1年目の昨年度は450億円、営業利益40億円の計画に対して、売上高は453億円、営業利益は35%増の54億円となり順調なスタートを切ることに成功しました。2年目となる当期は、昨年公表の中期経営計画に対して売上高は変更なしの700億円、営業利益は計画を11%上回る100億円の見通しを新たに掲げております。



中長期の経営方針について

FPD事業は、装置ビジネスから、顧客課題をトータルかつ高次元で解決できる**エンジニアリングビジネス**への進化を目指しています。

FPD事業 (LCD、OLED、Micro LEDなど)

革新的な技術を自社開発で追求
エンジニアリングビジネス (ターンキー/トータルソリューション) への進化

新規事業・・・新しい収益の柱を構築

半導体、医療分野など非FPD分野への展開

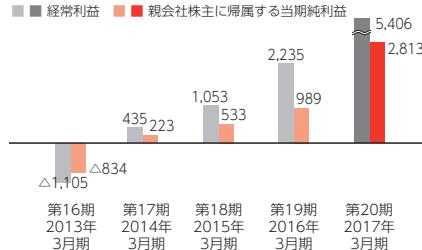
売上高 (百万円)



総資本回転率 (回)



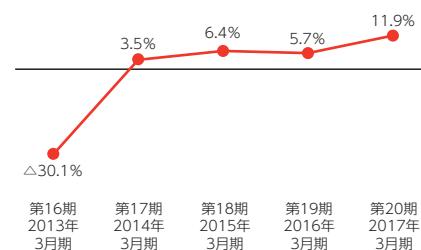
経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



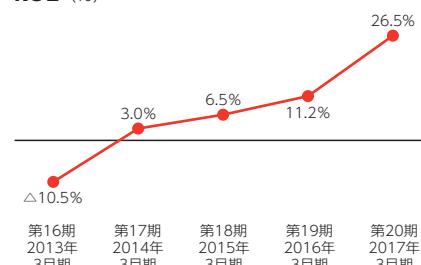
1株当たり当期純利益/1株当たり株主資本 (円)



経常利益率 (%)



ROE (%)



(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

● 2018年3月期(第21期)の業績見通し

	売上高 (百万円)	営業 利益 (百万円)	経常 利益 (百万円)	当期 純利益 ^{※1} (百万円)	1株当たり 当期純利益
業績予想	70,000	10,000	9,800	4,900	円 銭 989.60
(ご参考) 前期実績	45,376	5,414	5,406	2,813	577.48

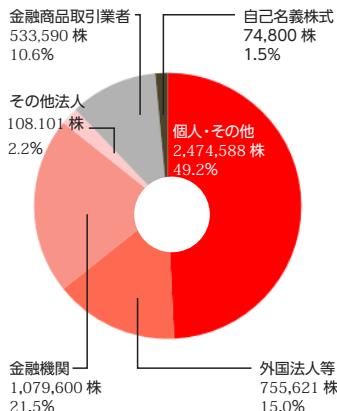
フラットパネルディスプレイ (FPD) 市場の拡大を背景に、今期の連結業績見通しにつきましては、売上高70,000百万円 (前年同期比54.3%増)、営業利益10,000百万円 (前年同期比84.7%増)、経常利益9,800百万円 (前年同期比81.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,900百万円 (前年同期比75.0%増) を見込んでおります。

※業績見通しについては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

株式の状況 (2017年3月31日現在) Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 5,026,300株
- 株主数 6,499名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
杉本重人	587,300 株	11.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	269,800 株	5.4%
日本証券金融株式会社	201,500 株	4.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	142,600 株	2.8%
株式会社SBI証券	132,200 株	2.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	95,300 株	1.9%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	86,013 株	1.7%
楽天証券株式会社	82,400 株	1.6%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	77,140 株	1.5%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	74,600 株	1.5%

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
・ 期末配当金 3月31日
・ 中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
・ 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL：0120-232-711 (通話料無料)
・ 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <http://www.vtec.co.jp>
- 株式の分割 単元株制度採用に伴い、平成26年3月31日(月)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式を、1株につき100株の割合をもって4月1日付で分割いたしました。

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

UD FONT



会社の概要 (2017年3月31日現在) Company Profile



社 名：株式会社ブイ・テクノロジー
設 立：1997年10月16日
本 社 所 在 地：横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
TEL：045-338-1980 FAX：045-338-1781

役員

代表取締役社長	杉本重人
専務取締役	梶山康一
常務取締役	米澤良
常務取締役	勝原隆
取締役	天日和仁

取締役	城戸淳二
常勤監査役	和田正
監査役	大倉修和
監査役	吾田啓一郎
監査役	住田勲勇

- 取締役城戸淳二は社外取締役であります。
- 監査役大倉修和および吾田啓一郎は、社外監査役であります。

拠点一覧

韓国 V Technology Korea Co., Ltd.
VN Systems Korea Co., Ltd.

台湾 V-TEC Co., Ltd.
VN Systems Taiwan Co., Ltd.

中国 Shanghai VN Systems Co., Ltd.
Kunshan V Technology Co., Ltd.
VETON Tech LIMITED.

日本
株式会社ブイ・テクノロジー
オー・エイチ・ティー株式会社

